



5月24日(金)総合:

## 学習。反復 と 重ね塗り が大切!

先日、週テストとして単語テストを実施しました。右に、満点を取った生徒を掲載します。満点の皆さん、努力しましたね。立派です。中学校に入学して初めての英語のテストであったため、英語を書く時のルールを忘れていた生徒が多かったようです。また、運動会直前で、疲れからか準備が不足していた生徒もいたようです。

では、今、同じテストを受けたら同じ点数がとれるでしょうか。昔、ドイツの心理学者のエビングハウスは、こんな実験をしました。

実験内容：意味をもたない音節を記憶し、その再生率を調べる。

実験結果：学習直後に、100%覚えていたとすると、

- 20分後には、42%を忘却し、58%を覚えていた。
- 1時間後には、56%を忘却し、44%を覚えていた。
- 1日後には、74%を忘却し、26%を覚えていた。
- 1週間後には、77%を忘却し、23%を覚えていた。
- 1か月後には、79%を忘却し、21%を覚えていた。

学習後、何もしなければ、人間はどんどん忘れてしまうことが分かったのです。それをグラフにしました。これが、有名な「エビングハウスの忘却曲線」です。

「勉強したって、忘れてしまうなら無駄じゃん！」

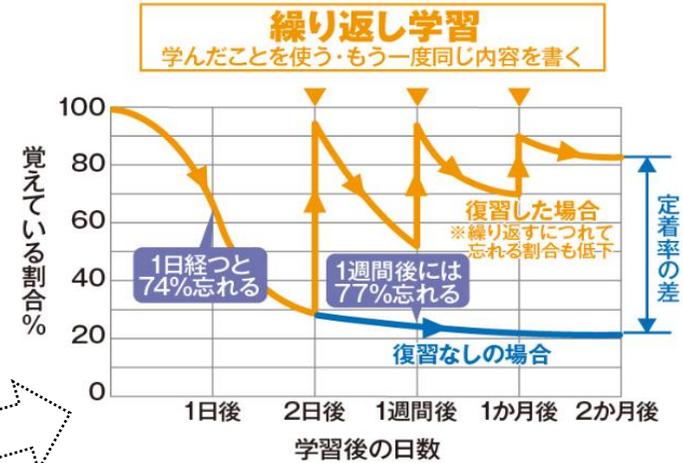
いいえ。忘れない方法が一つだけあります。その日のうちに復習をすることです。しかし、復習をしたこともまた忘れていきます。ですから、また復習をすることです。何度も何度も復習をする。そうすると、覚えていられる割合が高くなっていくのです。

学習は、反復練習をすることが大切です。一度塗った絵の具の上に、重ね塗りをして絵に深みを出すように。何度も重ね塗りをすることで、理解が深まります。理解が深まれば、学習することが楽しくなっていくことでしょう。

漢字や英単語を何度も書く。地方の特産物をクイズにして友達と出題しあう。自分だけの復習ノートを作る。重ね塗りの方法は、一つではありません。6月19日(水)からは、初めての定期考査が始まります。直前になって焦らないために、今日から重ね塗りを始めましょう。

※エビングハウスの実験は、意味をもたないもの記憶した実験でした。皆さんは、意味のあるもの。または、イメージできるものを覚えようとしているのですから、忘却の曲線は、もう少し緩やかになるといわれています。でも、復習をしなければ忘れてしまうことに、変わりはありません。さあ、今日からスタートです。

エビングハウスの忘却曲線(脳の忘れるしくみ)より



5月17日(金)実施 週テスト(英語) 満点者 6名

- A組 2名
- B組 2名
- C組 2名

